



わたしたちが自由になるまえ

アルバレス作 神戸万知訳 ゴブリン書房

わたしは、アニータ。もうすぐ十二歳。カリブ海に浮かぶ美しい国、ドミニカ共和国で一族みんなで暮らしていた。でも、突然、いとこ家族はアメリカに渡り、おじさんは姿を消し、うちには秘密警察が押し入ってきた。パパもママも、なにも教えてくれない。いったい、なにが起きているの？ 不安でたまらない。気持ちを落ちつけるため、わたしは日記を書く。わたしたちの身に起きたことを、だれかに知ってもらいたい。自由を求め独裁政権と闘った人々を、少女の視点から描いた物語。

